

一般社団法人日本ファームステイ協会よりご案内 【JPCSA 通信 Vol.34】

2021年7月27日発行

会員各位

一般社団法人日本ファームステイ協会事務局です。

いつも当会の活動にご理解頂き、誠にありがとうございます。

未だ、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、先日の豪雨により多くの方々が一層厳しい状況に追い込まれてしまいました。犠牲にあわれた方々へご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様へ謹んでお見舞いを申し上げます。

さて、今回は下記の内容で＜JPCSA 最新情報＞、＜農泊関連情報＞をお届けいたします。

- ◆「多様な地域資源の更なる活用に関する農泊推進研究会（第1回）」開催
- ◆「第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会」開催のご案内
- ◆観光庁「城泊・寺泊による歴史的資源の活用専門家派遣事業」
 - ・歴史的資源の活用セミナーが開催されます
 - ・専門家派遣希望地域のエントリー受付が開始しました
- ◆「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」の公募が開始しました
- ◆令和3年度 観光振興事業費補助金間接補助対象事業に係る計画公募が開始しました
- ◆令和3年7月の大雨に関する政府からの情報

主な協会行事

実施月	行事	内容
7月	9日「多様な地域資源の更なる活用に関する農泊推進研究会（第1回）」	主催者の農林水産省からは、宮内副大臣も参加し、有識者や実践者を交えた研究会を設置し、次の時代の農泊のあり方を考える、オンライン形式による農泊推進研究会を開催
	12日「農泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」（予定）	一部を改訂した第4番の発行
	30日賛助会員報告書（書面報告）送付（予定）	第4期事業報告、第5期活動計画等を報告

<JPCSA 最新情報>

～ JPCSA News ～

- ◆「多様な地域資源の更なる活用に関する農泊推進研究会（第1回）」開催

魅力的な宿泊施設の増加や体験メニューの充実化など、農泊の推進に向けた新たな研究会が立ち上がり、7月9日（金）に第1回「多様な地域資源の更なる活用に関する農泊推進

研究会」が開催されました。

新型コロナウイルス禍で農村滞在に関心が高まる中、収束後を見据えた受け入れ体制づくりにつなげるため、農泊・観光業界の団体や研究者がメンバーとなり熱い議論がされました。また、今年度第1回目（全3回開催予定）となった今回は、農泊実践者の方だけでなく、これから農泊に取り組もうとする方、農泊に関心がある方、観光業界関係者など多くの方々にオンラインにて視聴いただきました。



農泊推進研究会の様子



農林水産省 宮内副大臣



皆川副会長理事



上山代表理事

また、主催者である農林水産省からは宮内副大臣が参加し、アフターコロナの取り組みについて精力的に議論を行いました。

なお、本会からは皆川副会長理事と上山代表理事が委員として参加し、皆川氏は本研究会の座長に就任しました。次回は、オンラインでの中継を交えながら、実際に農泊に取り組む地域のワーケーションへの対応、地域独自の食や文化を生かした取り組みについて議論が行われる予定です。

< 農泊関連情報 >

～ Countryside Stay News ～

◆「第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会」開催のご案内

緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動であるグリーン・ツーリズムは、全国各地で多様な活動の展開が図られてきました。

現在、農山漁村の魅力を活かし、価値共有を通じて、持続的な農村ビジネスとして成立させる仕組みとして「農泊」の推進が全国各地で展開されています。

この農泊推進に向けた動きを踏まえて、その歩みをさらに確かなものにしていくため、全国の農泊推進地域・団体の実践者や自治体、企業などが一堂に会し「グリーン・ツーリズムの成果を活かし、農山漁村の持続的発展へ」をテーマに意見・情報交換と相互交流のネットワーク構築を目的として、「第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会」を開催します。以下の内容をご確認頂き、是非お申し込みください。

第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会

「グリーン・ツーリズムの成果を活かし、農山漁村の持続的発展へ」

（主催：第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎実行委員会）

- ・開催日：令和3年9月4日（土）～5日（日）
（みやぎ体感オプショナルツアー 令和3年9月5日（日）～6日（月））
- ・メイン会場：岩出山文化会館（スコレハウス）/宮城県大崎市
- ・分科会：やくらい林泉館、湧谷公民館、大崎市図書館、
中新田交流センター、公園の中の宿ロマン館
- ・開催方法：会場参加・オンライン参加 併用開催
1日目メイン会場(300人)、2日目各分科会場(50人)
- ・参加対象者：農泊、グリーン・ツーリズム実践者
農山漁村の資源活用に興味・関心のある方など
- ・大会参加費
 - (1)大会参加費：3,000円/人(1日のみ参加の場合は2,000円/人)
 - (2)交流会費：4,000円/人
 - (3)オンライン参加：個人2,000円/人、団体10,000円/人(資料5冊付き)
 - (4)昼食代(弁当代)：1,000円/人(2日目)
 - (5)オプショナルツアー：各コース実費負担

大会日程	
9月4日(土) 第1日目	9月5日(日) 第2日目
13:00 開会 主催者・歓迎あいさつ 祝辞	9:00 各分科会受付 9:30 分科会
13:30 オープニングトーク 「グリーン・ツーリズムの成果を活かし農泊へ —農泊で何が変わる、何ができる」 (東洋大学名誉教授、(一社)日本ファームステイ協会 品質評価支援研究所 所長 青木辰司 氏)	第1分科会:遊ぶ・これからのツーリズム 第2分科会:繋ぐ・支え合う仲間づくり 第3分科会:学ぶ・SDGsを農山漁村に学ぶ 第4分科会:食べる・おらほの食文化 第5分科会:見る・美しい農村(むら)づくり 第6分科会:泊まる・よみがえる農村
13:45 活動紹介(映像①)	12:00 昼食
14:00 オープニングアトラクション	13:00 分科会報告
14:30 活動紹介(映像②) ポスターセッション(ロビー)	6分科会ごとの報告 分科会統括 アジェンダ採択に向けた趣旨説明
15:30 総合討論	15:00 大会宣言文(宮城アジェンダ)の採択 閉会
「農泊の持続可能な展開を目指して —農の秘められた価値を世界へ、次世代へ」 ・コーディネーター 青木辰司 氏 ・パネリスト (一社)日本ファームステイ協会 代表理事 上山康博 氏 (一社)ムラたび九州 理事長 本田節 氏 みやぎグリーンツーリズム推進協議会 会長 伊藤秀雄 氏 農林水産省	15:30 解散 ※希望者はオプショナルツアーへ参加
17:00 終了 ※希望者は交流後、宿泊へ	

以下のWEBサイトより「参加申込書」をダウンロードし、必要事項を記載の上、メールまたはFAXにてお申込みください。(※先着順)

[一般社団法人 みやぎ大崎観光公社HPはこちら](#)

[大崎市公式HPはこちら](#)

【 1次募集締切：7月30日（金） 】

[ご案内チラシはこちら](#)

[募集要項はこちら](#)

< 賛助会員からのお知らせ >

～ From Supporting Members ～

◆令和3年度「城泊・寺泊による歴史的資源の活用専門家派遣事業」

観光庁は、訪日外国人旅行者の長期滞在や旅行消費額の増加を目的に、全国各地に点在する城や社寺で日本ならではの文化が体験できる宿泊施設(城泊・寺泊)として活用することを目指しています。城泊・寺泊について2つの取り組みをご紹介します。城や社寺は地域のシンボルであり、重要な観光資源の一つです。農泊の取り組みの一つとして検討してみたいかでしょうか。

※本事業は、専門家を派遣することのみを内容としており、事業者の実施する施設整備やコンテンツ造成等に補助金を支払うものではありません。

○城泊・寺泊による歴史的資源の活用セミナー開催のお知らせ(参加費無料)

本セミナーは、城や社寺等、歴史的資源を活用する具体的なイメージを持っていただくことを目的に、城や城郭内の歴史的資源を保有する「自治体」、「観光地域づくり法人(DMO)」や「民間企業等」及び、神社や寺院を保有する「社寺関係者」並びに宿坊を経営する「宿坊経営者」に対して、「城泊・寺泊による歴史的資源の活用セミナー」を開催します。

※城泊・寺泊を通じた観光地域づくりについて、取り組んでいる事例の紹介もあります。地域に城や社寺を持っている農泊地域の皆様にも参考になるお話が満載です。興味がある方でしたら、どなたでも参加可能ですので、ぜひご参加ください。

[詳細はこちら](#)

[お申込みフォームはこちら](#)

[城泊寺泊専門家派遣事業事務局公式HPはこちら](#)

[観光庁公式HPはこちら](#)

○専門家派遣希望地域のエントリーについて

観光庁では、「城泊・寺泊に興味はあるけど、何をしたらいいかわからない!」「活用に向けて課題を解決しておきたい!」という皆様のために、城泊・寺泊の立ち上げを支援する専門家派遣を実施します。城泊・寺泊と農泊を組み合わせた支援も可能です。現在、支援希望地域の募集をしておりますので、ご興味ある方はお早目にご応募ください。

[詳細はこちら](#)

●応募受付期間

令和3年6月30日(水)～8月20日(金)17時(必着)

●応募方法

1. エントリーシートをダウンロードし、必要事項を記入

[エントリーシートはこちら](#)

[エントリーシート記入例はこちら](#)

2. エントリー動画を撮影

3. エントリーシート及びエントリー動画を、下記エントリーフォームから提出

[エントリーフォームはこちら](#)

※Google アカウントをお持ちでない方は、フォームに飛ばない場合がございますので、事務局へお問い合わせください。

●お問い合わせ

ご不明な点やご相談は、事務局の相談フォームよりご連絡ください。

[相談窓口・お問い合わせ窓口はこちら](#)

◆令和2年度第3次補正予算事業「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」
【経営力強化サポートプログラム(宿泊事業者個別支援)】の公募が開始しました

公募期間:7月14日(水)~8月18日(水)(※採択予定件数に達し次第、公募終了となります。)

[詳しくはこちら](#)

◆アドベンチャーツーリズム等の新たなインバウンド層の誘致に向けて

令和3年度 観光振興事業費補助金間接補助対象事業に係る計画公募が開始しました

公募期間:7月13日(火)~8月23日(月) 17:00(必着)

[詳しくはこちら](#)

◆令和3年7月の大雨に関する政府からの情報

・観光庁「大雨による被災宿泊事業者向け特別相談窓口」が設置されました

観光庁では、大雨によって被災された宿泊事業者の方向けの特別相談窓口を設置しています。皆様におかれましては、既に報道や各自治体のホームページ等から確認されていることと存じますが、本会からも改めて政府からの情報を共有させていただきますのでぜひご活用ください。

- ・ 窓口設置場所：中部運輸局観光部観光企画課
- ・ 電話番号：052-952-8045 FAX：052-952-8087

[詳細はこちら](#)

・各機関からの情報

令和3年7月1日からの大雨に関する情報を掲載しています。(随時更新中)

[内閣府防災情報公式HPはこちら](#)

[厚生労働省の公式HPはこちら](#)

いかがでしたでしょうか？

最後までお読みいただきありがとうございました。

当会では随時会員を募集しております。

皆様の周りに農泊に取組中、またはご関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、当会をご紹介いただけますと幸いです。

ご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

また、会員様が実施されます農泊関連イベントや研修については、こちらのメールマガジン上で告知を承ります。掲載のご希望がございましたら、送信希望月の1カ月前までに下記E-mailへご連絡をお願い致します。受信後、当会担当者よりご連絡をさせていただきます。

=====

発行：一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2

(TEL：03-3526-2493 / FAX：03-3526-2494)

ホームページ URL はこちら：<https://jpcsa.org/>

問い合わせ先 E-mail : info@jpcsa.org

=====